

ちば里山新聞

(第27号)

編集・発行 NPO法人ちば里山センター
袖ヶ浦市長浦拓2号 580-148
電話 0438-62-8895
題 字 倉島 貴浩
(ワークホーム里山の仲間たち)

「東北地方太平洋沖地震」はこれまでに経験のない甚大な被害をもたらしました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。共に復興に向けて努力をしていきましょう。

企業と里山活動団体の 里山交流会議が開かれました。

- 1. 日 時 平成23年3月2日(水) 15:30~18:00
- 2. 会 場 千葉市きぼーる 15階 多目的室
(千葉市中央区中央4-5-1 15F Tel:043-201-9502)
- 3. 講 師 NPO法人しろい環境塾 代表 河合 泰 氏 「里山から地域へ」
クラスター 代表 成迫 剛志 氏 「森とIT」
ワタミ株式会社 経営企画部 小出 浩平 氏 「企業としての取り組み」
東京都市大学大学院 院生 久喜 伸晃 氏 「生物多様性バンキング」
東京造形大学学生 学生 渋谷 拓朗 氏 「里山活動取組みと作品」



地域の信頼関係の中から広がる
里山活動紹介をする河合氏



ITのプロとして、
得意分野を生かした取組み紹介



企業の取り組みを紹介

講師発表のあと分科会に分かれてそれぞれ、中身の濃い討論が交わされました

- 「森」と「IT」は関係ないとおもってきた。
- 子どもをパソコンから引き離すことを考えてきたが興味のあることからきっかけをつくって行くなど目からうろこが落ちるようだ。
- 作品をつくるときに、素材となる木を育てる森の整備をして、廃材で作品作りをしていきたい。

里山を切り口とした多様な関わり方が各グループで時間の限り話し合われた。後日、大変勉強になりました次回も行きたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。(企業関係者)ほか大変多くの方から反響をいただきました。当日主催者として最後に挨拶にたった千葉県農林水産部森林課西野氏は里山を切り口とした多様な取組みではあるが全ては里山を未来にのこす取り組みであることを強調して、ともに取り組みましょうと締めくくりました。



西野氏

里山サポートシッププログラム・エコツーリズム開催

里山活動団体と企業・市民をつないで、一緒に取り組みを進めましょう！

step 1 : 学習バージョン

“協働”で里山活動 企業と里山セミナー

2011年は「国際森林年」です。次年度に向けての準備を一緒に始めましょう。

企業・団体と里山を結びつける活動として、「企業と里山セミナー」を開催します。このセミナーが里山活動団体・企業関係者が共に学び、新たな協働する活動を創出して行く契機となることを願っています。

日時 平成22年12月15日(水) 10:00~12:00

場所 千葉市きぼーる 15階会議室

主催 特定非営利活動法人ちば里山センター 千葉県

対象 県内に工場・事務所を有する企業、
県内で里山活動を行っている里山活動団体



里山と生物多様性	中村 俊彦 氏
里山サポートシッププログラムについて	金親 博榮 氏
千葉県CO ₂ 吸収量認証制度について	西野 文智 氏
事例紹介	高橋 和靖氏 (おとずれ山の会) 夏井 宏一郎氏 (株) ひらい

step 2 : 現場体験学習バージョン (市原)

おもいっきり！里山体験 1



学ぶ 里山自然観察 つくる 野外科料理と竹はし
働く 間伐材丸切

体験を通して学ぶことは多い、企業人・個人として今後の関わりを考える機会とした。

会場：いちばら里山クラブ

step 3 : 里山を楽しむ

里山ウォーク・ウォーク (南房総市)



里山を歩く、文化を知る。

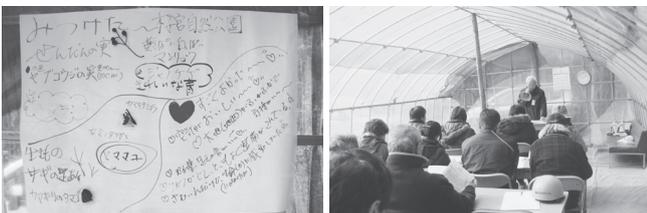
里山整備に取り組む活動団体があることで豊かな自然体験が出来ること。知っていることも体験で実感することは重要です。

今回のアンケートによるとサポート応援でエコツアー募金を実践するとしたら¥1000~¥2000ぐらいと答えた方が多くいらっしゃいました。

会場：安馬谷里山研究会

step 2 : 現場体験学習バージョン (多古&山武)

おもいっきり！里山体験 2



学び感じ取ったこと

里山レクチャー (多古)



山武杉を感じる

ツリーハウスをバックに

今回は次代を担う学生参加が多くありました。若い方の参加が多いのは嬉しいことです。

会場：桜宮自然公園をつくる会・(特非)さんむ環連協



サポートメニューを冊子にまとめました。

ご希望の方は里山センターにお問い合わせください。更に版を重ね、よりよいものにしていきます。ご協力をお願いします。

「国際森林年関連行事に取り組もう～
詳しくは「ちば里山センターにお問い合わせください！」



2011・国際森林年

「国際森林年」について

1 国際森林年の概要

2011年(平成23年)は、国連が定めた「国際森林年(the International Year of Forests)」であり、国際森林年は世界中の森林の持続可能な経営・保全の重要性に対する認識を高めることを目的としている。

国では、国際森林年にちなんだ様々な取組みを予定しており、都道府県・市町村においても、国民参加による里山活動や森林づくりの推進、国民の理解を普及啓発するなどの取組みが求められている。

(2006年(H18年)の国連総会決議により、2011年を国際森林年とした。国際森林年は世界中の森林の持続可能な経営・保全の重要性に対する認識を高めることを目的に、各国に対し積極的な取組や国内委員会の設置が要請されている。前回の国際森林年は、1985年。)

2 テーマ 「森を歩く」

(サブテーマ) ～未来に向けて日本の森を活かそう～

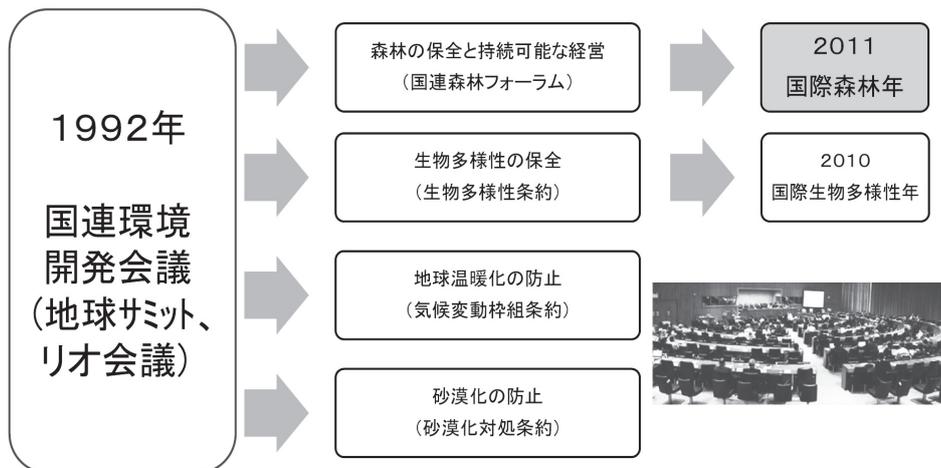
～森林・林業再生元年～

「森を歩く」というテーマは、国民による森林への理解の入口として容易に参加できる具体的行動を提案するもので、国民が森を訪れることにより、林業を含む地域産業への波及も意図している。また、関係者自らが現場の森林を歩き、現状を体感することも求めている。

「森林・林業再生元年」を契機に、未来に向かって豊かな森を引き継ぎ、森に関わる人を育くみ、暮らしの中で木を使うことが進むよう期待し、「未来に向かって日本の森を活かそう」というサブテーマを添えている。

3 国際森林年の位置づけ

▶ 国際森林年は、国連のもとで行われる活動。



(窓口) 国連森林フォーラム事務局 (NewYork, USA)
林野庁森林整備部計画課 海外林業協力室
(海外指導班・海外企画班 03-3591-8449)

(資料提供 千葉県)



ちば里山センター会員団体の[今後の行事予定]



4月17日	第34回白井環境講座 「耕作放棄と5,668種の田んぼの命」 (しろい環境塾)	5月8日 ～9日	トラクター運転技術講習会 (しろい環境塾)
5月14日 ～22日	第1回オープンフォレストin松戸 「おいでよ！松戸の森へ」 (松戸里やま応援団)	5月22日	第8回里山シンポジウム 「里山里海と食」 (里山シンポジウム実行委員会)
6月上旬	刈払い機技術・安全講習会 (しろい環境塾)	未定	「ちばエコ農産物～蒔」他 ～山菜の摘み取り (里山保全「自然塾」)
未定	生物多様性池への淡水魚介類の放流 (里山保全「自然塾」)	5月3日	本格派石窯ピザ作り体験 (谷当グリーンクラブ)

※中止となる場合がございますので、事前にお問い合わせ下さい。

参加者募集

農業支援活動への参加者募集・説明会開催

- ・募集期間 4月1日(木)～4月22日(金) 募集数 20名程度
- ・参加希望者説明会 4月23日(土) 10～11時 説明会 11～12時 現地案内
- ・補助 白井市市民団体活動支援補助事業
- ・関連イベント 上記掲載
- ・参加申込・問合せ しろい環境塾 上西 Tel:047-491-0660

「生き物いっぱいの田んぼの学校2011」開校・参加者募集

- ・募集期間 4月1日(木)～4月25日(月) 募集数 40名程度(小3以下は保護者同伴)
- ・内 容 第1回 5/14(土) 田植え、生もの調査、泥んこ遊び他
第2回 6/4(土) 田の草取り、カエルの調査他
第3回 6/25(土) 田んぼの生きもの調査、ネイチャーゲーム
第4回 8/6(土) かかし作り、流しそうめん他
第5回 8/26(土) 生きもの調査、ネイチャーゲーム他
第6回 9/10(土) 稲刈り、バッタと遊ぼう他
第7回 10/1(土) だっこく、新米を味わう、いも煮他

※①各回土曜日10～15時開催(雨天時・翌日曜日) ②天気の関係上、日程が変更される可能性があります。

③第3回及び第5回は任意参加です。

④講師は、東邦大学長谷川教授、船橋ネイチャーゲームの会鈴木代表、北総生きもの研究会のメンバー等を予定しています。

- ・集 合 平塚の里ベースキャンプ(白井市平塚、延命寺北側200m)
- ・交 通 循環バス「旧平塚分校入口」下車すぐ
- ・参 加 費 1回500円/人
- ・参加申込・問合せ しろい環境塾 上西 Tel:047-491-0660

※詳細については、ちば里山センターホームページをご覧ください。

※参加お申し込み・問い合わせ先

特定非営利活動法人 ちば里山センター

TEL 0438-62-8895 FAX 0438-62-8896

e-mail: info@chiba-satoyama.net

